

爆同第54回定期総会

(日時)5月10日(土)午後1時

(会場)大和市生涯学習センター

厚木爆同

【発行】

厚木基地爆音防止期成同盟

発行責任者 大波 修二

事務所 大和市桜森3-5-3

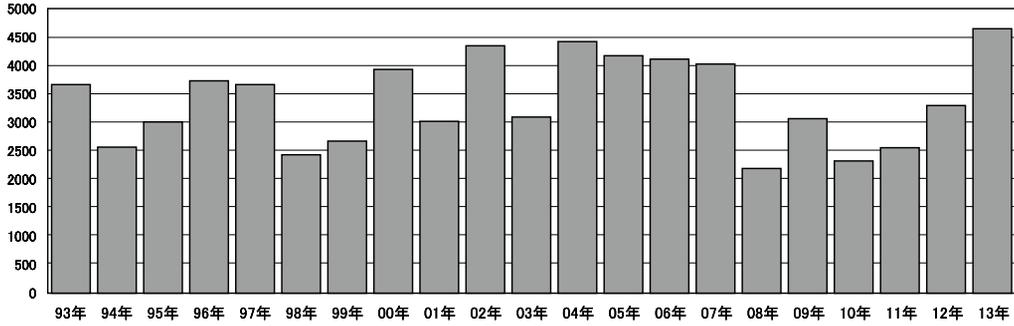
フロント1F

TEL 046-240-7450

FAX 046-261-5615

bakudou@kanagawa.email.ne.jp

艦載機の年間飛行機数の変遷 1993年～2013年



爆音測定・飛行監視行動 (基地北側)

1. 艦載機の飛行機数4653は、ここ10年間で最も多い飛行機数となっている。自衛隊機と海軍機は昨年とほとんど変わらない。海兵隊機が100機以上減ったが、艦載機がプラス1400機と激増した。

2. 2012年と比べてこれだけの差が出たのは、空母の出港時期の遅れと、定期修理中の艦載機

の訓練密度の差に起因する。2012年は定期修理明けで空母が出港したのは5月12日だったが、2013年は6月21日だった。

また、2012年は3月中旬から4月上旬にかけて厚木から飛ぶ艦載機の数が増えたが、2013年は定期修理中コンスタントに艦載機が厚木から飛んでいた。グラフからもわかるように、艦載機の年間飛行機数は1993年以降で最大となった。

3. 2013年の低空飛行ルートへの飛行回数は、2012年の約2割増となった。オレンジルート、ブラウンルート、ピンクルートが増え、ブルー、グリーンの両ルートが減少した。

空母の横須賀在港期間が延びたことなどで艦載機の飛行は前年比

6. 第5空母航空団(CVW5)に一昨年から配備された電子戦機EA18Gグラウラーは、同航空団のスーパーホーネットとの機数比以上に対地攻撃訓練を行う回数が増えている。対地攻撃任務に加わ

る頻度がスーパーホーネットよりも多いことが、訓練回数からもわかる。

7. 2013年の海兵隊機の飛行機数は、2012年の機数より100機以上減少した。ハリアーが40機以上の減、またホーネットが30機近く、KC130空中給油機が30機以上減となった。輸送機・連絡機は3割ほど増えて、2011年の機数に近づいた。

8. 米陸軍の連絡・輸送機UC35の飛行回数は、2012年より減少している。

嘉手納基地とオースサン基地への飛行が多いのは2012年とおなじ傾向だ。近くに米陸軍が駐留していることが、この2つの基地への飛行が多い原因だ。

以上ですが、厚木基地の騒音被害はますます酷くなっています。爆同の活動を充実し、積極的な取り組みが求められています。なお、詳しくはリムピースのホームページをご参照下さい。

艦載機の飛行機数は過去最大

厚木基地飛行2013年の動き

厚木爆同副委員長 金子 豊貴男

私が共同代表を務めるリムピースが厚木基地を離発着する飛行機の動きを毎日記録し、昨年の動きをまとめて、2月にメディア向けに発表しました。爆同会員の皆さんにも厚木基地の実態を知っていただくべくここに報告します。

2013年1月1日から12月31日までの飛行記録です。大和市などが記録しているのは騒音発生回数の記録です。リムピースの記録は目的を持って離陸した飛行の記録です。

1993年以来記録・発表していませんので、傾向も見えてきます。まとめると以下の内容になります。

爆音のない静かな空を 爆同を市民に アピール



爆同事務所に大きく掲げられたスローガン

学習と交流深めた 爆同新会員歓迎会

厚木爆同は組織強化にむけ、会員の拡大に取り組んできましたが、昨年55世帯の方々が新会員として加入されました。この新会員の皆さんと力を合わせ行動するため、2月22日、大和市生涯学習センターで「新会員歓迎会」を



新入会員歓迎会で講演する大波爆同委員長

開催しました。はじめに荻窪書記長が歓迎挨拶を行い、大波委員長が「厚木基地の情勢」や「厚木爆同の歴史と課題」について講演し学習を深めました。

その後、交流会では役員と新会員がテーブルを囲んで会食しながら、自己紹介を行い懇親を深めました。新会員からは「爆音被害が年々ひどくなっており、皆さんと力を合わせ静かな空を取り戻すため頑張りたい」「NHK受信料問題を市民にアピールし仲間を増やしていく」など心強い決意も語られ、有意義な交流会となりました。

会費の集金とNHK受信料の 聞き取りにご協力を！

会員の皆様へ！
厚木爆同の2014年度会費（年額2040円）の集金は、4月から地域を担当している支部長または班長が会員宅を訪問して行いますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。集金に伺った時に留守の場合は、連

支部から こんにちは！

大和北一支部

私が集金に回っている地区では、ほぼ全員が受信料の不払いを実施しています。昔勧誘に当たった方が会員であることの「メリット」として不払いを捉えていたのがその理由のようです。他でも事情は同じ様ですが、会員だけでなく爆同役員の間でも「爆同に入れば払わなくても大丈夫」みたいな話を度々耳にします。

ここが 「気」になる

在日米海軍司令部は今年の1月15日、米海軍横須賀基地に配備されている原子力空母「ジョージ・ワシントン」を交代させ、同クラスの原子力空母である「ロナルド・レーガン」を新たに配備することを発表しました。交代の時期は2015年後半になる見通しです。

横須賀に空母が初めて配備されたのは、空母「ミッドウェイ」が入港した1973年のことでした。日本政府は当初、「空母が横須賀を母港とするのはおおむね3年」と説明していましたが、世界で唯一の海外母港は3年どころか40年たった現在も

絡文を置いて来ますので、帰宅後は訪問された支部長または班長へ必ず連絡をしていただくようご協力をお願いします。

更にNHKを目の敵にするような人に出会うこともあり、日頃「不払い」を勧めながらも何か違和感を感じてしまっています。

まず、爆同は会員と共に闘う組織であって、何かしてくれる組織ではありません。

爆同シールは魔除けの札が

まず、爆同は会員と共に闘う組織であって、過度な期待は禁物です。

また、NHKとの関係については、隣にやたらうるさい工場が建ったと想像してみてください。闘う相手はあくまで工場主です。原因者が明確である

なお続いていきます。今回、「ロナルド・レーガン」を新たに配備し、原子力空母の横須賀母港化を継続させる発表がなされましたが、それは即ち厚木基地周辺住民が被る艦載機による爆音被害、そして各種米軍機による墜落、部品落下、不時着

原子力空母「ジョージ・ワシントン」が交代

などの被害、米軍人による犯罪被害が引き続きもたらされることを意味し、絶対に容認できません。また、原子力空母は2基の原子炉を積んでおり、万一事故が起これば甚大な被害をもたらします。

加えて、横須賀を母港とする空母がまた、会費の集金に合わせて、厚木爆同が取り組んでいるNHK受信料の全額免除にむけての簡単な聞き取りを行います。

具体的には、集金時にNHK受信料を不払いしているのかどうかの聞き取りですので、ご協力をお願いいたします。

「飛行差止め」署名 横浜地裁に提出

七三、八〇五名を集約した「飛行差



横浜地裁前で挨拶する平岡爆同副委員長

米国による戦争の先制攻撃の中心的役割を担っていることも指摘しなくてはなりません。イラク戦争のときには、横須賀から出撃した米軍空母の戦闘機が最も多くの攻撃を行いました。湾岸戦争のときも横須賀の米軍艦が攻撃の中心を担いました。横須賀はすでに米軍の出撃拠点となっているのです。

前述したように、空母が横須賀を母港化することに対して日本政府は当初「おおむね3年」としていましたが、以来空母は交代しながら横須賀に押しつけられている現状があります。この約束違反を許さず、新たな原子力空母の横須賀配備・横須賀母港化に対して反対と撤回要求の声をあげてゆきま

し止め判決を求める」署名を、3月11日、横浜地方裁判所に提出しました。この署名は5月に予定される第四次厚木爆音訴訟判決にむけ、厚木爆音訴訟原告団と厚木爆同が一体となって取り組んだものです。署名とともに「本件訴訟は厚木基地周辺の数百万の住民から解決を求められている重大かつ深刻な問題であり、違法状態の爆音を放置してきた国に対し、飛行差止めを命ずる公正な判決を求める」との要請書を提出しました。ご協力いただいた爆同会員の皆様に御礼申し上げます。

当選御礼

2月16日告示、23日投票で行われた町田市議会議員選挙で、厚木爆同推薦の谷沢和夫さん（厚木爆同町田支部長）が、2668票を獲得し、8期目の当選を果たしました。爆同会員の皆様のご支援に厚く御礼申し上げます。